東アジアのエネルギー環境政策選択

ーE3モデルを活用した東アジアのエネルギー・環境政策の評価と選択ー





第1部/講演会[13:00~15:40]

英語の講演は日本語要約あり

司会 藤川清史:名古屋大学国際開発研究科開会挨拶 李秀澈:名城大学経済学部

シンポジウムの概説「東アジアのエネルギー環境政策選択とE3モデリングの意義」

「東アジアの電源選択の行方と環境・経済効果」

Jean-Francois Mercure: Senior Research Associate, Cambridge University

「気候緩和シナリオ下のエネルギー構成・安全保障:東アジアを対象として」

松本健一:滋賀県立大学環境科学部

「東アジアにおける環境税の財政赤字補填効果: EUの経験を踏まえて」

Pollitt Hector: Director, Cambridge Econometrics

「東アジア地域における自由貿易の環境・経済効果: CGE分析を用いて」

伴ひかり:神戸学院大学 藤川清史:名古屋大学

東アジアのエネルギー環境政策選択

ーE3モデルを活用した東アジアのエネルギー・環境政策の評価と選択ー

第2部/パネルディスカッション

「東アジアのエネルギー・環境政策選択」

[16:00~18:00]

コーディネータ 藤川清史:名古屋大学国際開発研究科

パネリスト 植田和弘:京都大学経済学研究科

朴 勝 俊: 関西学院大学総合政策学部

劉 憲 兵:地球環境戦略研究機関(IGES)関西研究センター

趙 容 成:高麗大学食品資源経済学部

陳禮俊:山口大学経済学部李秀澈:名城大学経済学部

懇 親 会[18:10~19:30]

名古屋大学南部生協2階 会費制

開催挨拶



李秀澈(名城大学経済学部教授)

ソウル大学農学部を卒業後,全経連(日本の経団連)に勤務。京都大学大学院経済学研究科修了後,2005年より現職。博士(経済学)。専門は環境経済,環境政策学、現在の研究課題は、東アジアの低炭素社会の実現に向けた制度設計と政策協調。近編著に『東アジアのエネルギー環境政策』昭和堂

講演者



Jean-Francois Mercure

(Cambridge Centre for Climate Change Mitigation Research (4CMR), 上級研究員)

専門はグローバル経済のマクロ計量モデル. 現在の研究課題は, 温室効果ガスの排出予測のためのセクター別の技術選択モデルの開発と応用.



Hector Pollit (Director of International Modelling at Cambridge Econometrics.)

ケンブリッジエコノメトリクスでのグローバルE3MEモデルの管理責任者、EUの2020年温室効果ガス(GHG)ターゲットの策定、気候変動枠組み条約(UNFCCC)のモデルインベントリーにも参加。



松本健一(滋賀県立大学准教授)

関西学院大学大学院総合政策研究科修了後,2011年より現職。博士(総合政策)。 専門は環境エネルギー経済学、現在の研究課題は応用一般均衡モデルによる気候変動政策の分析、エージェントベースモデルによるエネルギー資源の分析。



伴ひかり(神戸学院大学経済学部教授)

神戸大学大学院経済学研究科修了後, 2008年より現職. 博士(経済学). 専門は 国際経済学, とくに貿易と環境の理論的・ 実証的研究. 現在の研究課題はGTAPを 利用した応用一般均衡分析と産業連関分 析の接合.

司会



藤川清史

(名古屋大学大学院国際開発研究科教授)

神戸大学大学院経済学研究科修了後, 2007年より現職. 博士(経済学). 専門は 計量経済学, 環境経済学. 研究課題は計 量モデルと産業連関-応用一般均衡モデ ルの開発と応用.

パネリスト



植田和弘(京都大学経済学研究科教授)

大阪大学大学院工学研究科修了後,1995年より現職、博士(工学,経済学)、専門は環境経済学、環境経済政策学会会長、東アジア環境資源経済学会会長を歴任、2012年には経済産業省の「調達価格等算定委員会」委員長として、「再生可能エネルギーの全量固定価格買い取り制度」の原案を作成、近著に『緑のエネルギー原論』岩波書店



朴勝俊(関西学院大学総合政策学部准教授)

神戸大学大学院経済学研究科修了後, 2010年より現職.博士(経済学).専門は 環境経済学,環境政策学.現在の研究課 題は、環境税制改革の二重の配当の分析, 脱原発による地元経済への影響の分析.



劉憲兵 (地球環境戦略研究機関(IGES)関西研究センター主任研究員・タスクマネージャー)

中国環境保護省科学技術・標準局を経て、2007年より現職。専門は環境政策学、特にミクロビジネスの視点からの環境とエネルギー・気候変動に関する政策分析、現在の研究課題は北東アジアの炭素市場の制度設計と価格設定、



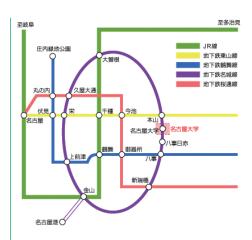
趙容成(高麗大学食品資源経済学部教授)

ミネソタ大学修了. PhD(経済学). 専門は環境経済学, 特に原子力と再生可能エネルギーの最適利用, 温室効果ガスの排出権取引と排出削減に向けた交渉, 気候変動への適応. 現在, 韓国の環境省の支援を受けた気候変動対策の大学院プログラムの運営に参加.



陳禮俊(山口大学経済学部教授)

京都大学大学院エネルギー科学研究科修 了後,2009年より現職。専門は環境経済 学,環境財政政策論,エコツーリズム論。 現在の研究課題は東アジア地域における エネルギーの持続可能性と安全保障,台 湾・中国の環境・エネルギー政策と法制 度,原発リスクと損害賠償。



■名古屋大学へのアクセス

名古屋駅より地下鉄東山線(藤が丘方面)に乗車し、 本山駅で乗り換え。

本山駅から地下鉄名城線(右回り)に乗車し、 名古屋大学駅で下車、1番出口へ。



■国際開発研究科へのアクセス

地下鉄名城線名古屋大学で下車し、1番出口に向かう 上記地図のルート1 (南玄関ルート)かルート2 (北玄関ルート)に沿って進む。 (はじめて来られた方には、ルート1の方がわかりやすい。) シンポジウム会場は、国際開発研究科棟の8階のオーディトリアム

- ■主 催:東アジア環境政策研究会 http://www.reeps.org/index.html
- ■共 **催**:名古屋大学大学院国際開発研究科·名城大学経済学部
- ■お問い合わせ: 李秀澈 slee@meijo-u.ac.jp/藤川清史 fujikawa@gsid.nagoya-u.ac.jp

